

波郷 記念館 だより

第55号



発行日 令和4年3月25日

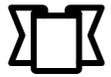
江東区砂町文化センター
〒136-0073
東京都江東区北砂
5-1-7
電話 03(3640)1751

第二回石田波郷記念「はこべら」俳句大会

受賞作品決定いたしました

今回で二一回目を迎えた石田波郷記念「はこべら」俳句大会ですが、今年度は、四〇一名、八〇一句、六年ぶりに四百名を超える応募がありました。

上田日差し（ひざし）先生、岸本尚毅先生、鈴木しげを先生、徳田千鶴子先生、能村（のむら）研三先生による選考で、はこべら賞、石田波郷記念館賞、特選、入選の各賞が決定し、三月一三日（日）、砂町文化センターにて授賞式が行なわれました。



はこべら賞

清冽な波郷のことば泉湧く

石田雄進

上田日差し先生特選、徳田千鶴子先生入選、能村研三先生入選により、はこべら賞を受賞されました。

【上田日差し先生講評】

「打坐（だざ）即刻」「俳句は私小説である」「俳句は飽くまでも韻文の髓の髓である」など、波郷の提言したことは今でも俳句の指針となっている。まさに「清冽（せいれい）な泉」を手に受ける思いである。



石田波郷記念館賞

一本の紙縊が火種大どんど

今井文雄

鈴木しげを先生特選、徳田千鶴子先生入選、能村研三先生入選により、石田波郷記念館賞を受賞されました。

【鈴木しげを先生講評】

どんどは、新年小正月の祭事である。神から受けた一本の紙縊によって火入れがはじまる。炎々と燃えさかるとどんど火も一本の紙縊（こより）から。省略の効いた作である。

授賞式では選者の先生方より講評をいただきました。



上田日差子先生



岸本尚毅先生



鈴木しげを先生

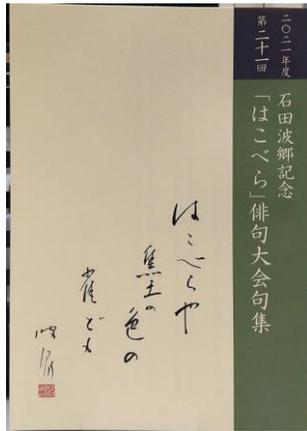


能村研三先生

第21回「はこべら」俳句大会
句集を砂町文化センター窓口で
販売しています。
1冊500円



はこべらすずめちゃん



ブックレット『石田波郷と砂町』刊行

波郷が城東区北砂町（現・江東区北砂）に転居したのは、昭和二年三月です。その後一二年間住み、波郷は砂町を「第二の故郷」と呼び親しみました。

このたび、石田波郷と波郷の愛した砂町を紹介するブックレットを刊行しました。

俳人・石田波郷について、波郷と砂町の関わりについて、さらには砂町エリアの見どころをコンパクトにまとめています。

目次

- 1 石田波郷Q & A
- 2 波郷の生涯
- 3 波郷の俳句
- 4 波郷と砂町
- 5 砂町を歩く

♪ 吟行・散策・史跡巡り♪

砂町文化センター
窓口で販売中
1冊300円

波郷記念館の見学、砂町の吟行、史跡巡りのお共にいかがですか。



石田波郷記念館のご案内

砂町文化センターには、石田波郷を顕彰し紹介する、石田波郷記念館が併設されています。

ご遺族からご寄贈いただいた波郷の作品資料、愛用品など、貴重な品々を展示し、平成一二年の開館以来、多くの方々に足をはこんでいただいております。

お越しいただいた皆様からは、

「区内の近くの公園の石碑があつて名前を知っていたのですが、どのような人か、どういう人生を送ったのかわらなかつたので、ここでそれを知る事が出来て良かったです。また昔の江東区の写真もあつて、こういう感じだったのかと知れて良かったです。」

「あらためて俳句に関心を持ちました。入館見学できてよかったですと思います。ありがとうございます。」
「鶴」を拝読させていただきます。」

といったお声が寄せられています。

波郷ファンはもちろん、俳句愛好者、これから俳句をはじめてみようかとひそかに思っている方、砂町の歴史に関心のある方にも楽しんでもらえるように、より一層充実させていきたいと思ひます。

「俳句は生活の裡うちに

満目季節をのぞみ、

肅々（しゆくしゆく）又朗々たる

打坐（だざ）即刻のうた也」

右は波郷が「鶴」昭和二二年

三月の表紙裏に掲げた宣言。

記念館では、「鶴」昭和二二年五月号と波郷筆色紙を展示しています。

波郷が砂町在住時代に撮った写真も公開中です。

砂町銀座、境川交差点、志演神社、妙久寺など、波郷の自宅周辺の写真など



「石田波郷と写真」



砂町文化センターニュース VOL.55

— 砂町で吟行&句会を開いてみませんか —

【施設のご案内】～句会に～

砂町文化センターでは、「会議室」などの施設をお貸出ししております（有料）。

センターには、「石田波郷記念館」、「砂町図書館」が併設されています。図書館には俳句関連図書コーナーもあります。



第1会議室



石田波郷記念館

【周辺のご案内】～吟行に～

文化センターの周辺には、石田波郷も歩いた妙久（みょうきゅう）寺や志演（しのぶ）神社、JR貨物小名木川（おなぎがわ）線などがあります。

また、少し足を延ばしていただくと、小名木川や仙台堀川親水公園、江戸時代に建てられた旧大石家住宅（江東区指定文化財）など散策をお楽しみいただけます。

【会議室を利用するには】

3か月前の3日午後1時から、お電話で予約をお受け付けいたします。

（例えば、4月3日午後1時から、7月分の受付を開始します。）

詳しくは、砂町文化センターホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

江東区砂町文化センター 03（3640）1751

開館時間 9～22時（電話予約・料金等取扱は21時まで）